

## 採用3年目看護師（沖縄県への応援職員として活躍）

釜石病院 看護師


 千葉 健吾 さん

## Q 新型コロナの関係で、沖縄県への応援職員として活躍されましたが、派遣依頼に応じることとなったきっかけはありますか

新型コロナウイルス感染症が各地で広がり、逼迫する医療体制の中、自分が赴くことで、そこで働く医療スタッフの負担軽減や、患者さんに提供される医療の質が少しでも保たれればいいと思い、依頼に応じました。

## Q 派遣に対して不安はありましたか

感染対策においては、感染管理認定看護師指導の下、PPEの着脱など普段から実施していたため、不安はありませんでした。他病院へ応援に行くことについては、地域や病院が変われば物品やケア方法も変わり適応できるのか、また、実務経験も浅く業務の補完ができるのかなど不安はありました。

## Q 派遣先での活動状況について教えてください

普通の業務とあまり大きく変わることはなく、注射・点滴や患者さんの身の回りのケアを行ってきました。コロナ病棟では、PPE装着し、患者の身の回りのケアの他、人工呼吸器の管理を行ってきました。そこで働くスタッフのみなさんは大変な苦勞をされてきていますので、少しでも負担を軽くすることができればという思いでした。

## Q 応援職員としての経験をどう活かしていきますか、今後学びたい分野や経験したい業務について教えてください

現在、自分は整形外科・泌尿器科に所属しています。応援として他科へいくこともあり、自信のスキルアップにもつながり、患者さんへ提供する看護の質向上にもつながっています。DMATチームにも所属していますので、今後の災害時の派遣にも経験が役に立てばいいと思います。今後は、ジェネラリストとして活躍できるよう多分野の経験・学習を積み重ねて行こうと思います。

## Q これから看護師として働く方へのアドバイスをお願いします

新型コロナウイルスの蔓延や少子高齢化の進展、医療技術の進歩に伴い、医療における看護師への期待は今後も高まっていくと思います。そんな中で自分が関わる患者さんへ何が出来るか、どんな選択肢があるのかを知るためには多くのことを学ばなければなりません。大変なことも多いですが、とてもやり甲斐のある仕事です。是非一緒に働くことを楽しみにしています。



## 【病棟師長から】

千葉さんは、助言や指導、サポートを真摯に受け止める素直さを持っています。そのことが看護師としての成長に繋がり、周囲からの信頼を得て、さわやかな印象を残す要因となっていると思います。

派遣先病院からはいつも「帰したくない。」とされています。

## 【派遣先からのコメント】

当院でコロナが蔓延し厳しい状況の中、千葉さんは風のように現れ、スーパーマンのように助けてくれました。笑顔の素敵なイケメン男子に応援に来てもらい、患者さんだけでなく、我々、看護スタッフも元気をもらいました。

千葉さんは依頼した仕事を快く引き受け、自分から率先して仕事を探すなど、当院のスタッフと同じように働き、すごく自然に現場に馴染んでいました。看護師経験3年目ででありながら、当院以外にもコロナ関係の応援経験があると聞き、感心させられました。

千葉さんのお陰で、病棟スタッフは元気で働いています。釜石病院さん、千葉さん、心から感謝しています！

派遣先病院・他県から派遣の皆さんと一緒に記念撮影

